



福井の名所探訪⑬

お水送り (小浜市)

若狭路に春の訪れを告げるお水送り。3月12日の奈良・東大寺お水取りに先立って、3月2日に小浜・神宮寺と鶴の瀬で行われる送水神事です。鶴の瀬では、神宮寺の別当が送水文を読み上げ、お香水を竹筒から川面へ。注がれたお香水は10日間かかって、東大寺の二月堂の若狭井に届くと言われています。

理 念

高齢期の方々の尊厳を踏まえ、こころ温まる医療の提供と地域から愛される病院を目指します。

基本方針

- ①認知症疾患の特性を踏まえ、個性の高い医療と温かみのある療養の提供
- ②認知症に関する介護教育と啓発活動の充実
- ③地域の医療・保健・福祉との一層の連携と協働
- ④働きがいのある職場づくり
- ⑤職員一人ひとりが自覚し、健全な病院運営への努力

患者様の権利に関する宣言

- ①最善の医療を平等に受ける権利
- ②選択および自己決定する権利
- ③意識のない患者様および法的能力のない患者様の権利
- ④患者様の意思に反する処置・治療
- ⑤十分な説明を受ける権利
- ⑥情報開示を求める権利
- ⑦個人情報およびプライバシーを保護される権利
- ⑧健康教育を受ける権利
- ⑨個人の尊厳を守る権利
- ⑩宗教的支援を受ける権利
- ⑪退院後も治療や福祉を受ける権利
- ⑫より良い環境で治療を受ける権利
- ⑬通信・面会を自由に行う権利
- ⑭退院や処遇改善の請求を行う権利



すこやか講座

今回は認知症の方を支えるご家族の支援についてお知らせします。介護家族の方の心理状態を理解し、支援していけたらと思います。

介護家族の方は4つの心理的ステップをたどるといわれています。

第1ステップ… とまどい 否定

- 高齢者の今までとは違う言動に戸惑い、否定しようとする。
- 悩みを他の肉親にすら打ち明けられず、一人で悩むことがある。

第2ステップ… 混乱 怒り 拒絶

- 認知症の理解が不十分なため、どう対処してよいかわからず混乱したり、些細なことに腹を立てたり叱ったりする。
- 精神的、身体的に疲労困憊し、拒絶しようとする。

一番つらい時期。積極的に医療サービスを利用することで乗り切ることができる！

第3ステップ… あきらめ 割り切り

- 怒ったりイライラするのは自分に損になると思い始め、割り切るようになる。
- あきらめの境地に至る。

第4ステップ… 受容

- 認知症に対する理解が深まり、高齢者の心理を自分自身に投影できるようになる。
- あるがままの高齢者を家族の一員として受け入れることができるようになる。

上手な介護のための12か条

- ① 知は力なり。よく知ろう。
- ② 割り切り上手は、介護上手。
- ③ 演技を楽しもう。
- ④ 過去にこだわらないで、現在を認めよう。
- ⑤ 気負いは負け。
- ⑥ 囲うより開けるが勝ち。
- ⑦ 仲間を見つけて、心軽く。
- ⑧ ほっと一息、気は軽く。
- ⑨ 借りる手は、多いほど楽。
- ⑩ ペースは合わせるもの。
- ⑪ 相手の立場でものを考えよう。
- ⑫ 自分の健康管理にも気を付けよう。

家族は今…

母と子

T・T

私の母は、若い頃から仕事や田畑と趣味の大正琴やゲートボールなどで、人との会話を楽しむように過ごしていました。娘から見ていても、いつも生き生きと楽しそうにしていました。それがある日の夜、突然近所の人が「〇〇ちゃん、おばあちゃんが…」と、すり傷だらけの母を抱えて家に連れて来てくれたのです。夜中なのにいつ出て行ったのか？主人も私もビックリ、それと同時にショックでした。まさかあんなに毎日を楽しく過ごし、愛犬との散歩もしていたのに…。それから日々の変化が現れてきました。同じ事を繰り返し、外出の後も自分の家に戻って来れない事もあり、財布がないとか…。この時からが認知症の始まりでした。でも、主人も私も仕事を休むことができず。それでケアマネジャーさんに相談をしました。通所が可能となり、半日デイサービスに…。私は、お昼休みを利用して家に残り母と昼食をとり、ケアの方が迎えに来るまでに用意をし、母を送り出してまた仕事に…。後に一日お世話になるようになりました。それでも母の認知症は悪くなる一方。帰るコールがひどく、職員さんの腕を噛むこともあり、ケアの方々には大変迷惑をおかけしました。まるで大人が子供に戻ったようでした。このままではと思っていた頃、今度は、紹介されたすこやかシルバー病院にお願いすることになりました。

先生に通院を勧められ、私なりに時間を作り通院しました。その時も母は自分の名前と住所を聞かれても言えず、母なりに困った顔をしていました。母も苦しいと思います。私自身も辛かったです。もちろん主人もです。認知症の方を見ている家族は本当に大変です。家族の絆が崩れていくみたいで辛いです。でも、そんな顔や態度を母には見せないで頑張ったのですが…。反面、母の症状は悪くなるばかりでした。今はすこやかシルバー病院に入院中。現在は穏やかな顔になり、お人形に話しかけたりして一日を過ごしているようです。

先生、スタッフの方々には感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。

今、一つ願いが叶うなら、母から私の顔を見て名前を呼んでほしいです。



ここあ 心愛日記

9月7日にオープンして早4か月余り。

オープン以来、延べ250名の方がいらしてくださいました。

そこで、^{ここあ}心愛でのひとときをご紹介します。



囲碁で対局中



にぎわってま〜す



新聞紙で作った
お花



干し柿作りにも挑戦しました



そばがらでふくろう枕を作りました



クリスマス会では当院スタッフによるギター
演奏で盛り上がりました♪



みんなで作ったケーキ
おいしそう♡

デイケアだより

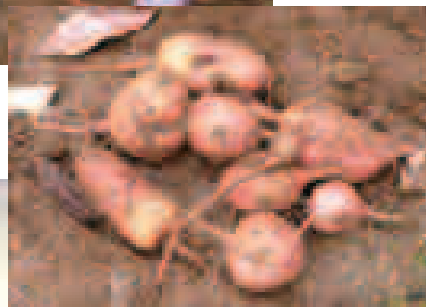
10月 いも掘り&大学いもづくり

今年も院内の畑に、さつまいもを植えました。今回は『安納芋』という品種^{あんのういも}を植えてみたところ、丸々とした立派なおいもができました。

その安納芋を使って昨年に続き、大学いもづくりを行いました。今回は揚げずにできる作り方だったため、ヘルシーかつ美味しくできました。甘みの強い品種で、おいもの美味しさが引き立ちました。



こりゃ、おっきいぜ〜!!



皮がかたそうなものは、男性利用者さんに剥いてもらいました



結構硬いんやねえ、ヨイショ!



黄金色でいい香り〜!!

★魔法の大学いも

《材 料》

さつまいも：大1本 砂糖：大さじ3 いりごま：小さじ0.5 サラダ油：大さじ3

《作り方》

- ①よく洗ったさつまいもを乱切りにして、10分ほど水につける
- ②①のさつまいもを水から上げ、ペーパー等で水気を拭く
- ③フライパンやホットプレートにサラダ油と砂糖を入れ、その上に②のさつまいもを平たく並べる
- ④ふたをして点火（中火）。パチパチと音が激しくなったら、火を弱めて約10分加熱する
- ⑤竹串がスッと刺さったら、砂糖が絡むまで炒る
- ⑥表面がカリッとしてきたら皿に盛り、ごまをふりかけて出来上がり!（クックパッド参照）

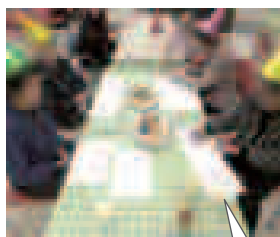
お味も満点☆

ボリューム満点☆

12月 クリスマス会

今回のクリスマス会は、当日にお誕生日を迎えられた利用者さんもおられ、誕生会も兼ねて大いに盛り上がりました。

まずは2種類のクリスマスケーキのデコレーション。男



どこに書こうかな〜



性陣のケーキはフルーツたっぷりで豪快なイメージ、女性陣のケーキはフルーツ控えめで繊細なイメージの仕上がりでした。

そして、ビンゴゲームを行いました。ささやかなプレゼントも喜んでいただけて良かったです。

新しい一年も生き生きとお越しいただけますよう、職員一同でお待ちしております。

一年間、お疲れさまでした

The 病棟



すこやか祭

10月24日に院内行事であるすこやか祭で、清水保育園の年長さんをお招きし、歌や踊りを披露していただきました。園児と一緒に歌を歌い、近くで接することで患者様のとてもよい笑顔を見ることが出来ました。

★園児との交流

子供たちがいっぱい。
かわいいな～♪♪



ありがとう～。
とっても楽しかったよ。



聞き覚えのある曲ばかりで、全員が一丸となって大きな声で歌ってくれました。



と～っても気持ちいいわ～。
ありがとね～♪♪

★長寿者発表

90歳以上の患者様を対象に、長寿のお祝いをさせていただきました。個人の顔写真を載せた賞状をお渡しして皆さん笑顔で喜ばれました。



トピックス

ホームページがリニューアルしました

当院のホームページが新しく生まれ変わりました！
これまでのホームページよりも、もっと見やすく
詳しく当院についてお分かりいただけるように
なっております。ぜひとも、覗いてみてください！



採用情報も掲載して
います！
ぜひ、ご覧ください！

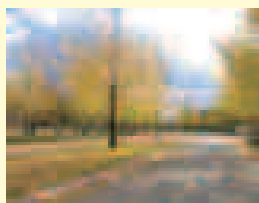
福井県立すこやかシルバー病院ホームページ

<http://fukui-sukoyaka-silver.or.jp/>

すこやかクラブ

(軽度認知症の方を対象にした活動)

11月8日(金)に、すこやかクラブが開催されました。今回は、福井市内のレストランでおまかせランチを食べた後、ふくい健康の森へ紅葉を見に行きました。当日は天気に恵まれ、散歩しながら、ぎんなんを拾って楽しみました。





一般の方を対象にした研修

No.	研修名	開催日	研修時間	主な研修内容	定員
1	認知症の基礎知識と介護のポイント	3月7日(金)	午後1時30分～午後3時55分(午後1時から受付)	● 認知症の症状と治療 ● 認知症高齢者への介護のポイント	50名
2	認知症に関する制度と相談窓口	3月14日(金)	午後1時30分～午後3時40分(午後1時から受付)	● 介護保険制度について ● 困った時の相談窓口	50名
3	認知症を予防しよう！	3月28日(金)	午後1時30分～午後3時55分(午後1時から受付)	● 認知症を予防するための基礎知識 ● 心も体も元気に、健康に	50名

研修場所／福井県立すこやかシルバー病院 2階会議室
お問合せ／福井県立すこやかシルバー病院 介護教育部

TEL (0776) 98-2700

講演会報告

11月16日(土)に、福井県生活学習館(ユアアイふくい)において、講演会が行われました。講師に、東京都立松沢病院院長、齋藤正彦先生をお招きし、「認知症の患者さんは世界をどう体験しているか？」というテーマでお話ししていただきました。当日は、天候に恵まれ、定員200名のところ、300名を超える方にお越しいただきました。ありがとうございました。講義では、齋藤先生の介護経験に基づく認知症の方の体験世界のお話、図などを使用した認知症の症状についての説明、BPSDに対する認知症の方の不安軽減の重要性を含めた、認知症ケアについての説明等がありました。先生の経験談を含めた説明で、とてもわかりやすい講義でした。来年度も11月に講演会を予定しております。決定次第、ちらし、ホームページなどでご案内をまいりますので、皆さんご参加ください。お待ちしております。

